



石塚アポロ県政活動報告
県政レポート

アポロ7号

2014.4.1 第7号 発行人／石塚吾歩路

ご挨拶

暖かい日が多くなってきた4月。新年度のスタートということで、新たな気持ちで何事も取り組みたいものです。常日頃よりのご理解とご協力、本当に有難うございます。

2月19日より3月25日まで行われた定例会。すべての議案を可決決定して、35日間に及ぶ審議は終了しました。要点をお伝え致しますので、ご一読頂ければ幸いです。

皆様方におかれましては、益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

とくとく
暖かい日が多くの

暖かい日が多くなってきた4月。新年度のスタートということで、新たな気持ちで何事も取り組みたいものです。毎日頃よりのご理解とご協力、本当に有難うございます。
2月19日より3月25日まで行われた定例会。すべての議案を可決決定して、35日間に及ぶ審議は終了しました。要点をお伝え致しますので、ご一読頂ければ幸いです。
皆様方におかれましては、益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

● まず、地震及び津波発生時における
高速道路は何人も立ち入ること
が出来ないという法律の定義
はわかりますが、とにかく逃げる
という場面で、のり面の利用
だけでなく、より高さを持つた
高速道路があれば、そこを使お
うとするのは人間の当然の心理
で、車での避難とすることも見
直されている昨今、人が立ち入
るだけでなく、自転車や自動車
での避難、つまり侵入も現実的
にあるということを考えてお
かなければならないと思います。
津波被害の恐れがある場合の
高速道路の活用とスマートな車
での避難のための現実的な動き
をイメージして質問いたします。

高速道路を活用出来る様
県としてもつと
イニシアチブを發揮して
いくことが必要と考えますが
当局の所見を伺います。

ける高速道路の対応について、唯一の高い場所が高速道路である場合、高速道路の有効活用を検討する必要があると考えますが、高速道路を通行中の車両にはどの様な対応がとられるのか。

こうした中、津波から地域住民の生命を守るため、関係市町村と十分な意見交換を行い、高速道路の避難場所としての活用について検討を行つてまいります。

そのうえで、避難場所として高速道路を活用する方策についてNEXCO中日本と必要に応じて協議を行つてまいりたいと考えております。

もに、ドライバーに対しても、安全を確認のうえ左側路肩に車し走行しないよう、道路交情報板やハイウェイラジオなどにより指示を行うこととされています。

津波発生時の対応につきましては、津波警報などを発表し場合、その情報をドライバー提供するよう努めることともに、津波による被害の危険性が広区域への進入を控えるよう広を行うこととされております。通行車両の具体的な避難・誘導方法につきましては、現在検が進められておりますが、今発表される被害想定も踏まえ対応策をとりまとめていくことがあります。

● 高速道路を避難場所として用することにつきましては、法律上の制約があるとともに、避難者の安全確保など、大きな課題があります。

国土交通省の東日本大震災の津波被害実態調査によるところ、沿岸に津波が到達する前の避難を始めた5千5百人のうち、車を使った人の割合はなんと55%を占めていたという結果を得ました。

車で避難した理由は「家族に要援護者がいたから」は15%に過ぎず最も多かったのが、「車でないと間に合わない」と思った」が30%で、「安全な場所まで遠く、車でないと行けない」も24%に及んでおります。

宮城県名取市では徒步の2倍以上にあたる65%が車で避難をしており、宮城県山元町

愛知県殿 平成26年1月30日

持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想の見直しの推進について

今般、人口減少や厳しい財政事情等を踏まえ、都道府県構想の見直しを徹底するとともに、早期の汚水処理の既成を目指すため、農林水産省、国土交通省、環境省の3省が連携して設置した都道府県構想策定マニユアル検討委員会」での審議を踏まえ、3省統一の「汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニユアル」を策定した。

県構想の平成26年度以降の早急な見直しを推進するとともに、市町村の汚水処理施設整備の構想についても新マニユアルを踏まえて見直すよう市町村と連携を図られたい。

（要点抜粋）

都道府県構想の見直しについて、今後どのように取り組んでいかれるか。

平成28年度には、各市町村の構想を取りまとめ、新しい「全県域汚水適正処理構想」として、公表してまいりたい。

流域下水道事業 について

東日本大震災 復興状況と高台避難所、 命の山を視察

まちづくりが進行中。まさに町で聞いた再構築をしている。

● 命山、避難タワーとも新たな用地取得はしない方針（公有地もしくは寄附）。近くの集落は公営住宅に避難するので、中田島砂丘の観光客用としてこの場所を整備。液状化対策検討済みとのこと。



A portrait of a smiling man with dark hair, wearing a light-colored button-down shirt. He is pointing his right index finger towards the right edge of the frame. The background is plain white.

The image shows the entrance to the Shiba Apo office. It features a glass door with a metal frame and a sign above it that reads "石塚アポロ 事務所". To the right of the entrance is a small orange kiosk or information booth with Japanese text on its sign.

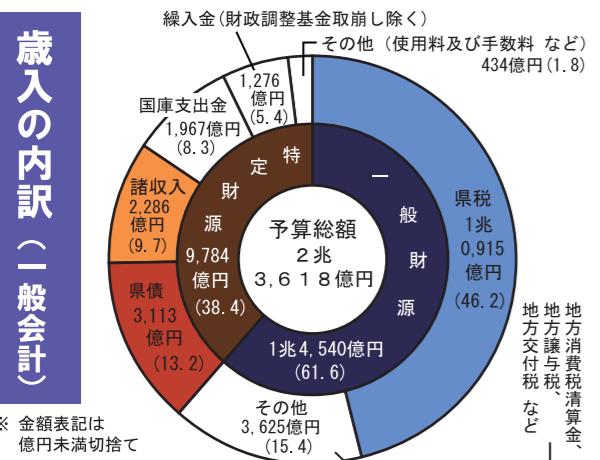
愛知県 平成26年度 一般会計当初予算 2兆3,618億円

平成26年度の愛知県一般会計当初予算が、2月19日に開会の県議会に提出された。予算規模はH25年度当初比6.0%増となる2兆3,618億円。

誰もが夢と希望を抱き、活躍できる社会づくりなどに取り組むため、「7つの柱」の施策を重点に予算編成が行われた。

歳入では、明るい兆しが見えてきた経済情勢のもとで県税収入は19.1%増と、6年ぶりに1兆円を超える見込み。輸出環境の改善から、法人2税は45.1%増の回復。一方、公債費や医療・介護など義務的経費の増加により、財源対策として減債基金の取り崩しなどで対応するが、職員の給与カットを管理職以上で継続せざるを得なくなった。

歳出では、公共事業などの投資的経費が10.8%(242億円)の増。なかでも県単独事業は、安心・安全につながる社会資本整備を積極的に進めることとし、20.6%(169億円)増と大きく伸びた。



歳出の目的別内訳
(一般会計)

※ 平成25年3月31日時点
住民基本台帳人口
7,462,800人

予算編成「7つの柱」

- (1) 元気な経済・産業・地域づくり
- (2) 安全で災害に強い地域づくり
- (3) 環境首都あいちづくり
- (4) 安心できる健康・医療・福祉社会づくり
- (5) 教育・文化立県あいちづくり
- (6) 地域の潜在力を引き出す社会基盤づくり
- (7) 自立・分権・協働の行財政体制づくり

この実態調査で、半数以上

が車で避難した結果を受けて、「これが現実で驚きではない」と東洋大学の関谷直也准教授のコメントがありました。

H24年8月に公表された国

の被害想定に基づいて県が試

算した東海地震、東南海地震、

避難のシミュレーションを行

れば、スマートに避難出来る

と推計しているとのことであり

ます。

●自動車による避難が想定され

る中、沿岸部から遠い内陸部ま

でより円滑に避難出来る様、

●また、沿岸部の住民は少しでも海側から遠ざかる為に、北へ

へと避難を試みようと考える

はずです。少しでも南北の交通を

スマートにさせるための工夫や

が先日の中日新聞にも掲載があ

りました。

この実態調査で、半数以上

が車で避難した結果を受けて、「これが現実で驚きではない」と東洋大学の関谷直也准教授のコメントがありました。

H24年8月に公表された国

の被害想定に基づいて県が試

算した東海地震、東南海地震、

避難のシミュレーションを行

れば、スマートに避難出来る

と推計しているとのことであり

ます。

●自動車による避難が想定され

る中、沿岸部から遠い内陸部ま

でより円滑に避難出来る様、

●また、沿岸部の住民は少しでも海側から遠ざかる為に、北へ

へと避難を試みようと考える

はずです。少しでも南北の交通を

スマートにさせるための工夫や

が先日の中日新聞にも掲載があ

りました。

この実態調査で、半数以上

が車で避難した結果を受けて、「これが現実で驚きではない」と東洋大学の関谷直也准教授のコメントがありました。

H24年8月に公表された国

の被害想定に基づいて県が試

算した東海地震、東南海地震、

避難のシミュレーションを行

れば、スマートに避難出来る

と推計しているとのことであり

ます。

●自動車による避難が想定され

る中、沿岸部から遠い内陸部ま

でより円滑に避難出来る様、

●また、沿岸部の住民は少しでも海側から遠ざかる為に、北へ

へと避難を試みようと考える

はずです。少しでも南北の交通を

スマートにさせるための工夫や

が先日の中日新聞にも掲載があ

りました。

この実態調査で、半数以上

が車で避難した結果を受けて、「これが現実で驚きではない」と東洋大学の関谷直也准教授のコメントがありました。

H24年8月に公表された国

の被害想定に基づいて県が試

算した東海地震、東南海地震、

避難のシミュレーションを行

れば、スマートに避難出来る

と推計しているとのことであり

ます。

●自動車による避難が想定され

る中、沿岸部から遠い内陸部ま

でより円滑に避難出来る様、

●また、沿岸部の住民は少しでも海側から遠ざかる為に、北へ

へと避難を試みようと考える

はずです。少しでも南北の交通を

スマートにさせるための工夫や

が先日の中日新聞にも掲載があ

りました。

この実態調査で、半数以上

が車で避難した結果を受けて、「これが現実で驚きではない」と東洋大学の関谷直也准教授のコメントがありました。

H24年8月に公表された国

の被害想定に基づいて県が試

算した東海地震、東南海地震、

避難のシミュレーションを行

れば、スマートに避難出来る

と推計しているとのことであり

ます。

●自動車による避難が想定され

る中、沿岸部から遠い内陸部ま

でより円滑に避難出来る様、

●また、沿岸部の住民は少しでも海側から遠ざかる為に、北へ

へと避難を試みようと考える

はずです。少しでも南北の交通を

スマートにさせるための工夫や

が先日の中日新聞にも掲載があ

りました。

この実態調査で、半数以上

が車で避難した結果を受けて、「これが現実で驚きではない」と東洋大学の関谷直也准教授のコメントがありました。

H24年8月に公表された国

の被害想定に基づいて県が試

算した東海地震、東南海地震、

避難のシミュレーションを行

れば、スマートに避難出来る

と推計しているとのことであり

ます。

●自動車による避難が想定され

る中、沿岸部から遠い内陸部ま

でより円滑に避難出来る様、

●また、沿岸部の住民は少しでも海側から遠ざかる為に、北へ

へと避難を試みようと考える

はずです。少しでも南北の交通を

スマートにさせるための工夫や

が先日の中日新聞にも掲載があ

りました。

この実態調査で、半数以上

が車で避難した結果を受けて、「これが現実で驚きではない」と東洋大学の関谷直也准教授のコメントがありました。

H24年8月に公表された国

の被害想定に基づいて県が試

算した東海地震、東南海地震、

避難のシミュレーションを行

れば、スマートに避難出来る

と推計しているとのことであり

ます。

●自動車による避難が想定され

る中、沿岸部から遠い内陸部ま

でより円滑に避難出来る様、

●また、沿岸部の住民は少しでも海側から遠ざかる為に、北へ

へと避難を試みようと考える

はずです。少しでも南北の交通を

スマートにさせるための工夫や

が先日の中日新聞にも掲載があ

りました。

この実態調査で、半数以上

が車で避難した結果を受けて、「これが現実で驚きではない」と東洋大学の関谷直也准教授のコメントがありました。

H24年8月に公表された国

の被害想定に基づいて県が試

算した東海地震、東南海地震、

避難のシミュレーションを行

れば、スマートに避難出来る

と推計しているとのことであり

ます。

●自動車による避難が想定され

る中、沿岸部から遠い内陸部ま

でより円滑に避難出来る様、

●また、沿岸部の住民は少しでも海側から遠ざかる為に、北へ

へと避難を試みようと考える

はずです。少しでも南北の交通を